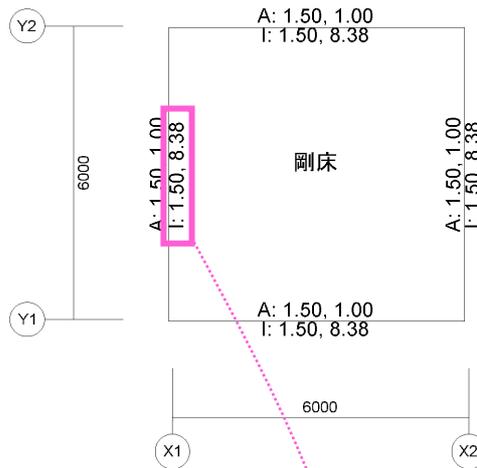
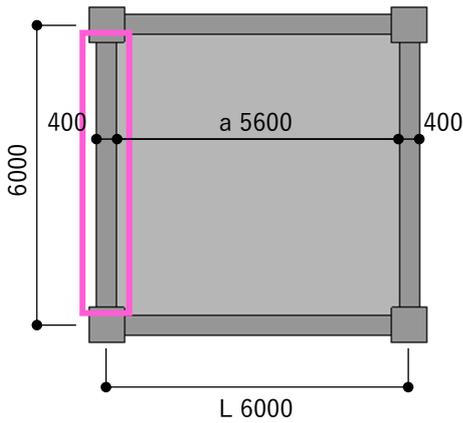


# I計算 RC梁 スラブの考慮

## “考慮する”にチェックした場合

垂/腰壁の考慮 <input checked="" type="radio"/> 実断面 <input type="radio"/> 断面積とせいが等しい長方形断面 <input type="radio"/> 断面積と幅が等しい長方形断面	スラブの考慮 <input checked="" type="radio"/> 考慮する <input type="radio"/> 考慮しない
--	--

### 6.1.8. 梁剛性の増減係数



“考慮する”にチェックした場合、梁の剛性増減係数にスラブを考慮します。

スラブの協力巾

$$a=5600, 0.5L=0.5*6000=3000$$

$$a > 0.5L \text{ より、} ba=0.1L=0.1*6000=600\text{mm}$$

方向	剛性増減係数
	梁のみの断面性能 $I_{y1}=400*600^3/12=720000\text{cm}^4$ スラブ付き梁としての断面性能 $I_{y2}=(400*600^3/12+400*600*66.67^2)+(600*200^3/12+600*200*133.33^2)=1080000\text{cm}^4$ 剛性増減係数 $I_{y2}/I_{y1}=1080000/720000=1.50$
	梁のみの断面性能 $I_{z1}=600*400^3/12=320000\text{cm}^4$ スラブ付き梁としての断面性能 $I_{z2}=(600*400^3/12+400*600*166.67^2)+(200*600^3/12+600*200*333.33^2)=2680000\text{cm}^4$ 剛性増減係数 $I_{z2}/I_{z1}=2680000/320000=8.38$

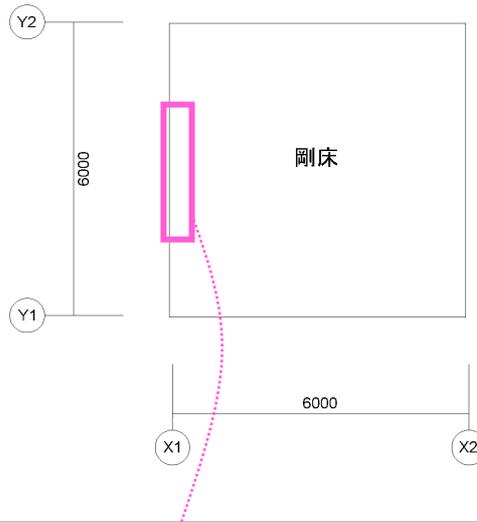
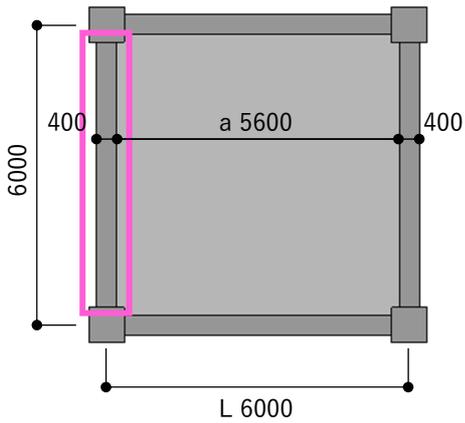
参照：計算解説書「3.1.2 梁の断面性能」，「3.1.4 床の考慮」

# I計算 RC梁 スラブの考慮

## “考慮しない”にチェックした場合

垂/腰壁の考慮	スラブの考慮
<input checked="" type="radio"/> 実断面	<input type="radio"/> 考慮する
<input type="radio"/> 断面積とせいが等しい長方形断面	<input checked="" type="radio"/> 考慮しない
<input type="radio"/> 断面積と幅が等しい長方形断面	

### 6.1.8. 梁剛性の増減係数



“考慮しない”にチェックした場合、梁の剛性増減係数にスラブを考慮しません。